

現代ファッション論

鈴木 桜子

2年 前期又は後期 モードテクノロジー系必修 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

「ファッションとは何か？」この問いに答えるのは容易ではありません。ファッションは私たちにとって最も身近な存在でありながら、個人と社会、歴史、文化、思想等のあらゆる領域と複雑に絡み合いながら現在に至っています。

本授業では、衣服と直接的な身体との関係、社会現象としての流行とメディアとの関係、様々な視点からファッションの現在の意味を問う展覧会に焦点をあて、「ファッション」について深く考えていきます。

■到達目標（学修成果）

「ファッション」について、ディスカッションを通して自らのファッション論を導き出すことを目標とします。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目はモードテクノロジー系の必修科目であり、卒業要件科目です。ファッションに関する多角的な視点を持ちながら専門性を高めていくための科目です。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回	「ファッション」を考える なぜ衣服を着るのか	シラバスの確認	15分
2回	I. ファッションと身体 ①コルセット	復習/授業ノートの確認+ α *+ α は更に自らの調査研究を深めます。	50分
3回	②化粧	復習/授業ノートの確認+ α	50分
4回	③女性の服・男性の服	復習/授業ノートの確認+ α	50分
5回	④マネキン	復習/授業ノートの確認+ α	50分
6回	⑤ディスカッション	予習/ディスカッション準備	100分
7回	II. ファッションとメディア ①ファッション写真	復習/授業ノートの確認+ α	50分
8回	②ファッション雑誌	復習/授業ノートの確認+ α	50分
9回	③かわいい世界	復習/授業ノートの確認+ α	50分
10回	④ディスカッション	予習/ディスカッション準備	100分
11回	III. ファッションと展覧会①「ファッションと色彩」展	復習/授業ノートの確認+ α	50分
12回	②「ラグジュアリー」展	復習/授業ノートの確認+ α	50分
13回	③「スキン+ボーンズ」展	復習/授業ノートの確認+ α	50分
14回	④「日本ファッションの未来性」	復習/授業ノートの確認+ α	50分
15回	⑤プレゼンテーションと評価	予習/プレゼンテーション準備	100分

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

ディスカッション時に課されたレポートは、評価コメントを付けて次週に返却、講評をします。

■成績評価の方法・基準

ディスカッション+レポート+プレゼン	80%
授業態度・姿勢	20%

■教科書

毎回プリントを配布します。

■参考文献

授業内で紹介します。

■オフィスアワー・研究室

前期・後期 木曜日 15:00～16:00 3413 ファッション文化論研究室

■備考

沢山の服飾関連の授業を受講している皆さんにとって大事なことは、時に立ち止まり、物事を深く考える時間を持つことです。現在、ファッションについて社会学や哲学の立場から論じられている書物が数多く出版されています。それらをヒントに日頃からファッションについて深く考えてみましょう。

CAD パターンメイキング

坂田 優子・羽賀 友美

2年 前期又は後期 モードテクノロジー系必修 (1単位 演習)

■授業の方針・概要

CAD (Computer Aided Design) の基本操作を学び、CAD による衣服設計の活用方法を学修します。完成パターンを使用し、立体 (3D) → 平面 (2D) の相互関係を学習し平面パターン設計について CAD を利用しながら理解を深めます。

■到達目標 (学修成果)

CAD の基本操作とアパレルに必要な総合的な CAD システムの使用方法を修得する事を目標とします。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目の単位となります。ディプロマポリシー (学位授与の方針) については、モードテクノロジー系必修科目であり、服飾造形の基礎力の向上に資する科目です。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回	オリエンテーション、CADの基本操作1 (保存、読み込み、スキヤニング) 各原型読み込み	予習: シラバスを読んでおくこと パソコンによる手慣らし	30分
2回	CADの基本操作2 (移動・直線・曲線)	予習: パソコンによる手慣らし	30分
3回	ダーツ展開1・応用問題 (ドレス原型)	終わらなかったところは終わらせておく (小テスト等)	30分
4回	ダーツ展開2 (ドレス原型)	終わらなかったところは終わらせておく (小テスト等)	30分
5回	袖・応用問題	終わらなかったところは終わらせておく (小テスト等)	30分
6回	ギャザー (ドレス原型)	終わらなかったところは終わらせておく (小テスト等)	30分
7回	ギャザースカート1 (スカート原型)	終わらなかったところは終わらせておく (小テスト等)	30分
8回	ギャザースカート2 (スカート原型)	終わらなかったところは終わらせておく (小テスト等)	30分
9回	前半の復習	予習: 前半の整理、再確認しておく	30分
10回	キュロットスカート (スカート原型)	終わらなかったところは終わらせておく (小テスト等)	30分
11回	パーツ化、縫い代付け (工業用パターン)	終わらなかったところは終わらせておく (小テスト等)	30分
12回	マーキング (型入れ)	終わらなかったところは終わらせておく (小テスト等)	30分
13回	グレーディング (サイズ展開)	終わらなかったところは終わらせておく (小テスト等)	30分
14回	まとめ1	予習: 全体を整理、再確認しておく	30分
15回	まとめ2	予習: 全体を整理、再確認しておく	30分

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

授業の後半に、その回学んだことを復習の意味で小テストします。小テストは教員が添削し、次週返却し学生はそのデータの確認を行います。

■成績評価の方法・基準

授業態度	25%
各回のデータの結果	25%
最終データ提出	50%

■教科書

配布プリント

■参考文献

パターンメイキングの原理 (大野順之助著)

■オフィスアワー・研究室

- ・オフィスアワーの日時は初回の授業時にお知らせします。
- ・インダストリアルパターン研究室 (第3校舎2階 3211)

■備考

CADは自宅では使用出来ないコンピューターソフトのため、欠席しないことをお奨めします。

モードクリエーションⅠ

瀧川 美佐子・中村 枝里子・井出 千尋

2年 前期 モード必修 (3単位 実習)

■授業の方針・概要

服飾造形基礎Ⅰ、Ⅱで修得した服飾造形の基礎的な知識と技術をさらに発展させ、ワンピースドレスの制作を通してバランス、ディテールなどを学ぶ。マーケティングリサーチを行い、その時代の流行や市場の動向を感知し、オリジナルデザインの作品を制作する。基本アイテムの一つパンツの制作も行う。また、各自がイメージすることを服の造形で表現できるよう、デザインの考案、パターン作成をする。

■到達目標（学修成果）

ワンピースドレスとパンツのパターンメイキング、縫製方法を学び、作品制作を通して制作過程の理解と表現方法を身に付ける。さらに作品発表を通して、プレゼンテーション能力を高める。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業認定科目です。専門科目、服飾関係科目のモードクリエーションコース必修の実習科目です。卒業制作にあたり、修得しておかなければならない知識や技術を含んでいます。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回	オリエンテーション基礎課題・製図Ⅰ（ワンピースドレス各種）マーケティングリサーチについて	予習：シラバスを読む テキストを確認する 復習：製図を見直す ワンピースのマーケットリサーチを行い、まとめる	30分 60～90分
2回	基礎課題・縫製Ⅰ（ワンピースドレスの縫製方法について）	予習：電子教材を閲覧する 復習：学んだことを確認する	30分 30～60分
3回	応用課題Ⅰ（ワンピースドレス制作①）製図 マーケティングリサーチ報告	予習：デザインの考案 PATTERN MAKING テキストを確認する	30～60分
4回	応用課題Ⅰ（ワンピースドレス制作②）トワル作成・点検	予習：トワル作成 復習：遅滞作業を行う	30～60分
5回	応用課題Ⅰ（ワンピースドレス制作③）製図訂正・型紙作成 （特別授業「素材加工セミナー」を含む）	予習：製図、SEWING テキストを確認する 復習：遅滞作業を行う	30～60分
6回	応用課題Ⅰ（ワンピースドレス制作④）裁断・印付け	予習：SEWING テキスト、電子教材を閲覧する 復習：遅滞作業を行う	30～60分
7回	応用課題Ⅰ（ワンピースドレス制作⑤）身頃縫製	予習：SEWING テキスト、電子教材を閲覧する 復習：遅滞作業を行う	30～60分
8回	応用課題Ⅰ（ワンピースドレス制作⑥）衿、袖縫製	予習：SEWING テキスト、電子教材を閲覧する 復習：遅滞作業を行う	30～60分
9回	応用課題Ⅰ（ワンピースドレス制作⑦）仕上げ・提出 縫製指示書について	予習：SEWING テキスト、電子教材を閲覧する 復習：遅滞作業を行う	30～60分
10回	基礎課題・製図Ⅰ（パンツ各種、1/2大製図）	予習：PATTERN MAKING テキストを閲覧する 復習：遅滞作業を行う	30～60分
11回	基礎課題・製図Ⅰ（パンツ実物大製図、型紙作成）	予習：SEWING テキスト、電子教材を閲覧する 復習：遅滞作業を行う	30～60分
12回	ワンピースドレスプレゼンテーション 講評会 基礎課題・縫製Ⅰ（パンツ裁断縫製①）	予習：プレゼンテーション準備 復習：遅滞作業を行う	30～60分
13回	基礎課題・縫製Ⅰ（パンツ裁断縫製②）	予習：SEWING テキスト、電子教材を閲覧する 復習：遅滞作業を行う	30～60分
14回	応用課題Ⅱ（造形自由制作・デザイン考案、製図①）	予習：資料の収集 デザイン考案	30～60分
15回	応用課題Ⅱ（造形自由制作・製図②） まとめ	予習：製図・縫製方法を確認する 復習：前期の課題を振り返り確認する	30～60分

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題により授業内で解説、返却を行う。試験、レポート返却については別途日程を伝達する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%	プレゼンテーション	10%
基礎課題	20%	定期試験	20%
応用課題	30%		

出席が原則として授業時数の2/3未満の場合、提出物が未了の場合は、再履修とする。

■教科書

ドレメ式原型、PATTERN MAKING Ⅰ、SEWING Ⅰ、

電子教材・服飾造形基礎Ⅰ—1, 2, 4（基礎、縫製のバリエーション、パンツ）・服飾造形基礎Ⅱ—2（ワンピースドレス）

■参考文献

図解服飾用語事典、その他

■オフィスアワー・研究室

第1回目の授業に指示します。研究室 大学服飾造形研究室

■備考

特別授業「工場見学(期日未定)」を含む。

進度により、日程および内容を変更する場合もある。

準備学修の時間はあくまで目安であり、各自の状況に合わせて増減すること。

モードクリエーションⅡ

瀧川 美佐子・中村 枝里子・井出 千尋

2年 後期 モード必修 (3単位 実習)

■授業の方針・概要

服飾造形基礎Ⅰ、Ⅱ、モードクリエーションⅠで修得してきたパターンメイキングを基に、工業用パターンを学び、総裏付きジャケットの構成を理解する。素材に合わせたパターン修正、展開方法などをまなぶ。モードクリエーションⅠで考案したデザインをシーチング等の素材を使用して造形作品を制作し、大学祭で展示発表を行う。

■到達目標（学修成果）

ジャケットのパターンメイキング、縫製方法を学び、作品制作を通して制作過程の理解と表現方法を身に付ける。さらに作品発表を通して、プレゼンテーション能力を高める。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業認定科目です。専門科目、服飾関係科目のモードクリエーションコースの必修の実習科目です。卒業制作にあたり、修得しておかなければならない知識や技術を含んでいます。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回	基礎課題・製図（テーラードジャケット） 基礎課題・縫製（ポケット各種）①	予習：シラバスを読む 前期作業の確認 予習 SEWING テキスト、電子教材を閲覧する	20分 30分
2回	基礎課題・縫製（ポケット各種）② 応用課題Ⅰ（テーラードカラージャケット制作①）製図①	復習：遅滞作業を行う 予習：PATTERN MAKING Ⅱを確認する	30～60分
3回	応用課題Ⅰ（テーラードカラージャケット制作②）製図② 応用課題Ⅱ（造形自由制作組み立て①）	復習：製図を完成させる 制作を進める	30～60分
4回	応用課題Ⅰ（テーラードカラージャケット制作③）製図③ 応用課題Ⅱ（造形自由制作組み立て②）	全国ファッションデザインコンテストを見学し、レポートを書く	60分
5回	応用課題Ⅱ（造形自由制作組み立て③）	制作を進める	60分
6回	応用課題Ⅱ（造形自由制作完成 展示準備） 応用課題Ⅰ（テーラードカラージャケット制作④） トワル作成・点検・製図訂正①	予習：展示プランを考える 予習：PATTERN MAKING Ⅱを確認する	30～60分
7回	応用課題Ⅰ（テーラードカラージャケット制作⑤） トワル作成・点検・製図訂正②	復習：遅滞作業を行う	30～60分
8回	応用課題Ⅰ（テーラードカラージャケット制作⑥） 型紙作成（表地、裏地、芯）	予習：SEWING テキスト、電子教材を閲覧する 復習：遅滞作業を行う	30～60分
9回	応用課題Ⅰ（テーラードカラージャケット制作⑦） 裁断、縫製準備	予習：SEWING テキスト、電子教材を閲覧する 復習：遅滞作業を行う	30～60分
10回	応用課題Ⅰ（テーラードカラージャケット制作⑧） 身頃縫製、ポケット縫製	予習：SEWING テキスト、電子教材を閲覧する 復習：遅滞作業を行う	60分 30～60分
11回	応用課題Ⅰ（テーラードカラージャケット制作⑨） 衿作り、衿付け	予習：SEWING テキスト、電子教材を閲覧する 復習：遅滞作業を行う	60分 30～60分
12回	応用課題Ⅰ（テーラードカラージャケット制作⑩） 袖作り、袖付け点検	予習：SEWING テキスト、電子教材を閲覧する 復習：遅滞作業を行う	60分 30～60分
13回	応用課題Ⅰ（テーラードカラージャケット制作⑪） ボタン付け、ボタンホール、仕上げ	予習：SEWING テキスト、電子教材を閲覧する 復習：遅滞作業を行う	60分 30～60分
14回	作品提出 ジャケットの応用製図、応用縫製のポイント	予習：PATTERN MAKING Ⅱを確認する ジャケットのリサーチを行う	30～60分
15回	ジャケットプレゼンテーション発表 まとめ	予習：プレゼンテーション準備 復習：後期の課題を振り返り確認する	90分

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題により授業内で解説、返却を行う。試験、レポート返却については別途日程を伝達する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%	プレゼンテーション	10%
基礎課題	20%	定期試験	20%
応用課題	30%		

出席が原則として授業時数の2/3未満の場合、提出物が未了の場合は、再履修とする。

■教科書

ドレメ式原型、PATTERN MAKING Ⅰ、Ⅱ、SEWING Ⅱ、Ⅲ（購買部で各自購入しておくこと）
電子教材・服飾造形基礎Ⅰ—1, 2, 3, 4、（基礎、縫製のバリエーション、スカート、パンツ）
電子教材・服飾造形基礎Ⅱ—3（ジャケット）

■参考文献

図解服飾用語事典 その他

■オフィスアワー・研究室

第1回目の授業に指示します。研究室 大学服飾造形研究室

■備考

進度により日程および内容を変更する場合もある。準備学修の時間は目安であり、各自の状況に合わせて増減すること。

ドレーピング& パターンメイキングⅠ

三科 三四子・高橋 彩香

2年 前期 モード必修 (1単位 実習)

■授業の方針・概要

将来ファッション業界でデザイナー、パターンメーカー、マーチャンダイザー、バイヤー等の仕事をする上で、最も大切な基本理論を学びます。

服を着る人の体型を把握し、服作りの基礎となる原型作りを通して、基礎の考え方、服の見方を学ぶことでファッション業界において仕事をするためのファーストステップを確立します。

■到達目標（学修成果）

婦人服におけるパターンの基本理論と基本技術の習得とします。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

モードクリエイションコースの必修で卒業認定に必要な科目です。ファッション業界で活躍できる専門力向上に資する科目です。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回	立体裁断とは 人台・天竺の扱い	上身頃用天竺の用意 90cm幅×50cm丈	15分
2回	原型のドレーピング 前身頃	1回目の終了段階までの準備	10～30分
3回	後身頃	2回目の終了段階までの準備	10～30分
4回	前スカート・後スカート	3回目の終了段階までの準備 スカート用天竺用意 90cm幅×70cm丈	30分
5回	上下のはぎ合わせ	4回目の終了段階までの準備	10～30分
6回	パターン作成	5回目の終了段階までの準備	10～30分
7回	組み立て 修正	6回目の終了段階までの準備	10～30分
8回	原型のユルミ入れ 前身頃	7回目の終了段階までの準備 天竺の用意 45cm幅×50cm丈	20分
9回	後身頃・前後スカート	8回目の終了段階までの準備 天竺の用意 45cm幅×70cm丈	20分
10回	組み立て修正	9回目の終了段階までの準備	10～30分
11回	袖の考え方 袖のパターンメイキング	10回目の終了段階までの準備 袖の天竺用意 45cm幅×70cm丈	15分
12回	袖付け	11回目の終了段階までの準備	10～30分
13回	修正	12回目の終了段階までの準備	10～30分
14回	袖の応用 ティパードスリーブ	13回目の終了段階までの準備 袖の天竺用意 45cm幅×70cm丈	15分
15回	原型完成	14回目の終了段階までの準備 B2 ケント紙用意	15分

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内で課題を点検し、その場で学生に対して個別指導を行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度（意欲・出席率）	25%
訓練度（正確度・速度）	25%
感性（表現力・創作力）	25%
理解度（記憶力・分析力）	25%

■教科書

立体裁断 「基本理論」 小山千暁他著 (有) c f k 1 9 9 1

■参考文献

「工業用パターンガイドブック」 小山千暁他著 (株)アミコファッションズ

■オフィスアワー・研究室

土曜日 9:00～12:00 第2新校舎 2402 教室 事前に出席の申告を必要とする。

【連絡研究室】ドレーピング&パターンメイキング研究室（第3校舎1階3106教室）

■備考

授業に必要なテキスト、道具・組立などの準備は必ず時間前に用意すること。

ドレーピング& パターンメイキングⅡ

三科 三四子・高橋 彩香

2年 後期 モード必修 (1単位 実習)

■授業の方針・概要

前期に学んだドレーピング（立体裁断）方法を、平面上で立体的に操作する製図法・パターンメイキング（立体製図）で服作りの基礎となる原型からの展開方法を実習により身に付け立体と平面との兼ね合いを掴む訓練をします。

■到達目標（学修成果）

服作りの基本理論を立体と平面の両面から学ぶことでファッション業界において仕事をするためのファーストステップを確立します

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

モードクリエイションコースの必修で卒業認定に必要な科目です。ファッション業界で活躍できる専門力向上に資する科目です。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間 (分)
1回	ダーツの考え方 展開方法	上身頃原型・天竺用意	40分
2回	〃 展開・移動・回転	1回目の終了段階までの準備	10～30分
3回	〃 ギャザー展開	2回目の終了段階までの準備	10～30分
4回	〃 水平ヨーク展開	3回目の終了段階までの準備	10～30分
5回	〃 ラウンドヨーク展開	4回目の終了段階までの準備	10～30分
6回	〃 水平ヨークギャザー展開	5回目の終了段階までの準備	10～30分
7回	〃 ギャザースカート展開	6回目の終了段階までの準備 スカート原型・天竺用意	40分
8回	袖の応用展開 ギャザースリーブ	7回目の終了段階までの準備 袖の目・天竺用意	30分
9回	〃 ティパードスリーブ	8回目の終了段階までの準備	10～30分
10回	〃 マトンスリーブ	9回目の終了段階までの準備	10～30分
11回	衿のパターンメイキング フラットカラー シャツカラー	10回目の終了段階までの準備 上身頃原型・天竺用意	10～30分
12回	衿のドレーピング ピーターパンカラー	11回目の終了段階までの準備 衿の天竺用意	15分
13回	〃 シャツカラー	12回目の終了段階までの準備	10～30分
14回	Aラインスカートのドレーピング	13回目の終了段階までの準備 スカートの天竺用意	20分
15回	Aラインスカートのパターンメイキング	14回目の終了段階までの準備 スカート原型用意	30分

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内で課題を点検し、その場で学生に対して個別指導を行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度(意欲・出席率)	25%
訓練度(正確度・速度)	25%
感性(表現力・創作力)	25%
理解度(記憶力・分析力)	25%

■教科書

立体裁断 「基本理論」 小山千曉他著 (有) c f k 1 9 9 1

■参考文献

「工業用パターンガイドブック」 小山千曉他著 (株)アミコファッションズ

■オフィスアワー・研究室

土曜日 9:00～12:00 第2新校舎 2402 教室 事前に出席の申告を必要とする。

【連絡研究室】ドレーピング&パターンメイキング研究室(第3校舎1階3106教室)

■備考

授業に必要なテキスト、道具・組立などの準備は必ず時間前に用意すること。

モードデザインⅠ

白木 ゆみ香

2年 後期 モード必修 (1単位 実習)

■授業の方針・概要

モードデザインⅠは、モードクリエーションコースにとって必要不可欠な、「デザイン力」や「表現力」を養う授業です。1年時に学んだ基礎的なファッションデザイン画の技術や2年前期のデザイン概論の知識を元に、更に向上させるべく自分のイメージするデザイン画が自由に描けるようになるための技術や手法を学びます。

大学図書館なども大いに活用し、デザインの情報や資料収集がすぐに出来る環境の中、オリジナルのデザインを発想できる力を養えるよう指導、訓練をしていきます。

■到達目標（学修成果）

自分のイメージするデザインを、自由に描ける力を養うこと。また、デザインを発想できる力を身に付けることを目標とします。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この教科は、モードクリエーションコースの必修科目で、卒業要件の単位となります。ファッション業界で活躍できる専門力向上に資する科目です。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回	オリエンテーション レディース秋冬スタイル①	予習：シラバスを読む。 復習：市場調査	30分
2回	クロッキー（10分程度） レディース秋冬スタイル②（ブランド分析、デザインポイント、ターゲット層、ハンガーイラスト、オリジナル）	復習：作品課題を完成させる。	60分
3回	クロッキー（10分程度） メンズ秋冬スタイル①（ブランド分析、デザインポイント、ターゲット層、ハンガーイラスト、オリジナル）	予習：市場調査	30分
4回	クロッキー（10分程度） メンズ秋冬スタイル②（ブランド分析、デザインポイント、ターゲット層、ハンガーイラスト、オリジナル）	復習：作品課題を完成させる。	60分
5回	クロッキー（10分程度） ポーズのバリエーション	復習：作品課題を完成させる。	30分
6回	クロッキー（10分程度） 素材研究、マテリアル各種、絵の具での表現	復習：作品課題を完成させる。	60分
7回	クロッキー（10分程度） 毛皮+マテリアル①、デザイン画2体 下絵	復習：図書館・インターネットにて資料収集。	30分
8回	クロッキー（10分程度） 毛皮+マテリアル②、デザイン画2体 着色	復習：作品課題を完成させる。	60分
9回	クロッキー（10分程度） アイデアポートフォリオⅠ（人体からの発想）①	予習：図書館・インターネットにて資料収集。	30分
10回	クロッキー（10分程度） 〃 ②	復習：作品課題を完成させる。	60分
11回	クロッキー（10分程度） アイデアポートフォリオⅡ（素材からの発想）①	予習：図書館・インターネットにて資料収集。	30分
12回	クロッキー（10分程度） 〃 ②	復習：作品課題を完成させる。	60分
13回	クロッキー（10分程度） アイデアポートフォリオⅢ（自由課題）①	予習：図書館・インターネットにて資料収集。	30分
14回	クロッキー（10分程度） 〃 ②	復習：作品課題を完成させる。	60分
15回	特別講義（活躍している卒業生をゲストに招く）	予習：ゲスト講師について事前調査。質問用意。 復習：レポート。	60分

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

- ・作品課題の提出は、教室またはデザインCG研究室（研究棟1F）まで、指定された日時までに提出のこと。
- ・作品課題の返却は、採点または手直し後、教室にて返却。・試験はなし。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
日常課題・作品	70%

■教科書 必要に応じてプリント配布。 教材「Fashion Illustration Sheet」「Fashion Ruler」

■参考文献 ファッション誌。デザイン本。

■オフィスアワー・研究室

【前期】水 16:00～17:00、木 14:40～17:00 【後期】水 16:00～17:00

【研究室】デザインCG研究室（研究棟1F）

■備考 進度により、日程および内容の変更あり。必要と思われる展示会や美術展などの見学あり。

服飾デザイン概論

鈴木 桜子・北折 貴子

2年 前期 モード必修 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

「デザイン」は、単に「もの」(服飾)のイメージに合わせて色や形にしていこうとするのではなく、最も重要な目的の一つとして、「もの」を通して人と社会をコーディネートしていきことがあげられます。そのためには時代を知り、人と社会に関心を持つ姿勢が求められ、どのようなプロセスを通して最終的な色や形にしていこうかが問われます。

本授業では、服飾デザインを多角的な視点から捉え、自らの服飾デザイン観が社会とどのように結びついていくのか、理論的・実践的思考を高めてプレゼンテーション、ディスカッションを行っていきます。

■到達目標 (学修成果)

服飾デザインについて、自らの見識を持ち、デザインコンセプトを構築していくきっかけを掴むことが目標です。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

モードクリエイションコース専門科目として卒業認定の卒業要件科目です。服のデザイン・考え方・プレゼンに必要な技術等が修得でき、学位授与に繋がります。モードクリエイションⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、卒業制作Ⅰ・Ⅱの授業での製作する際のデザイン考案に関連しています。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回	オリエンテーション なぜ、服をデザインするのか?	復習: これからの自らの方向性を考えてみる。	30分
2回	デザインと服飾デザイン	復習: 身の回りのデザインと服飾デザインの関係を振り返る。	30分
3回	衣服の考え方、デザインの考え方	復習: 現時点での自らの衣服観・デザイン観を捉えてみる。	50分
4回	歴史・文化に向き合うデザイン	復習: 過去の衣服に目を向けてみる。	50分
5回	時代・社会に向き合うデザイン	復習: 現代の衣服に目を向けてみる。	50分
6回	衣服の目的・機能・デザイン	復習: プレゼンに向けてこれまでの授業を振り返る。	50分
7回	プレゼンテーションとディスカッション①	予習: プレゼンの準備 復習: ディスカッションの振り返り	90分
8回	服飾デザインのプロセス	復習: 授業内容を受けてポートフォリオ作成の準備にとりかかる。	50分
9回	デザインと数理	復習: 授業内容を受けてポートフォリオに反映させる。	50分
10回	デザインと感性	復習: 授業内容を受けてポートフォリオに反映させる。	50分
11回	色彩・素材・装飾	復習: 授業内容を受けてポートフォリオに反映させる。	50分
12回	フォルム・構造・技術	復習: 授業内容を受けてポートフォリオに反映させる。	50分
13回	多様化するデザインとその役割	復習: 授業内容を受けてポートフォリオに反映させる。	50分
14回	プレゼンテーションとディスカッション②	復習: ディスカッションを通じて自分のポートフォリオを見直す。	30分
15回	まとめと評価	復習: 講評を受けて自分の作品を振り返る。	30分

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

プレゼンテーション+ディスカッション (7回、14回、15回) の中で学生双方の評価、教員の講評をフィードバックしていきます。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%	① 授業姿勢 (欠席・遅刻も含む) を重視する。
課題	50%	② 課題の完成度
プレゼンテーション	20%	③ プレゼン能力

■教科書

必要に応じてプリントを配布

■参考文献

状況に応じて授業の中で紹介していきます。

■オフィスアワー・研究室

授業初日に伝えます。 ファッション文化論研究室: 大学校舎 4階 3413

北折研究室: 研究棟 2階 6021

■備考

進度により、日程及び内容は変更することがあります。

装飾技法

中村 枝里子・井出 千尋

2年 後期 モード必修 (1単位 実習)

■授業の方針・概要

装飾技法の歴史は古く、服飾の世界では様々な技法を用いた服作りが行われています。この授業においては、服作りの幅を広げるヒントとなる装飾技法の基礎的手法を学びます。

■到達目標（学修成果）

装飾技法の基礎的技法を習得し、服飾造形に生かすことを目標とします。更に基礎的技法を発展させ、作品に付加価値をつけたり、新たにデザインを発想したりするなど、応用力を身につけることも目指します。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門必修科目で卒業要件科目の単位となります。モードクリエーションコース学生の必修で、モードクリエーションⅢ、Ⅳや卒業制作での服飾造形表現に必要とする技法技術の向上に資する科目です。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回	オリエンテーション、装飾技法について	予習：シラバスを読む。	10分
2回	キルティング	予習：キルティングについて調べてくる。	30分
3回	フランス刺繍	予習：フランス刺繍について調べてくる。	30分
4回	ビーズ刺繍	予習：ビーズ刺繍について調べてくる。	30分
5回	フリーレース	予習：フリーレースについて調べてくる。	30分
6回	ニードルパンチ	予習：ニードルパンチについて調べてくる。	30分
7回	スラッシュキルト	予習：スラッシュキルトについて調べてくる。	30分
8回	ギャザー、シャーリング	予習：ギャザー、シャーリングについて調べてくる。	30分
9回	フリル、ラッフル	予習：フリル、ラッフルについて調べてくる。	30分
10回	プリーツ、タック	予習：プリーツ、タックについて調べてくる。	30分
11回	パイピング	予習：パイピングについて調べてくる。	30分
12回	スモッキング	予習：スモッキングについて調べてくる。	30分
13回	その他技法	予習：授業で学んだ技法以外の装飾技法について調べてくる。	30分
14回	その他技法	予習：授業で学んだ技法以外の装飾技法について調べてくる。	30分
15回	まとめ	復習：配布した技法資料と自身の作品を振り返り、技法を確認する。	60分

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

15回目に課題ファイルの返却と解説

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
日常課題	70%

原則として出席日数が2/3に満たない場合、提出物が未了の場合は再履修とする。

■教科書

適宜プリントを配布します。

■参考文献

必要に応じて授業内に紹介します。

■オフィスアワー・研究室

各担当から授業内で指示します。

連絡研究室：服飾造形研究室（研究棟内）、造形教室

■備考

日程及び内容は、進捗状況により変更することもあります。

材料費として1300～1500円程集金します。

近代ファッションデザイン史

鈴木 桜子

2年 前期 モード必修 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

いわゆる「ファッションの歴史」ではなく、歴史から抽出できるテーマを軸に、デザインの歴史と理論を学びます。授業では個々に作品事例をあげながら、デザイナーのデザインに対する考え方、理論的なものの見方を理解します。また授業の理解の上で、自らのファッションに対するこれまでの視点・これからの視点をプレゼン形式で発表、まとめていきます。

■到達目標（学修成果）

自らの衣服理論・デザイン理論を構築していく上で授業の内容からヒントを得るきっかけを作ることができれば目標を達成したといえるでしょう。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目です。本科目はデザインの理論と実際を理解し自らのデザインの実践に繋げていく上で、モードクリエーションコースの必修科目になっています。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回	オリエンテーション デザインの考え方	シラバスの確認	10分
2回	I. 装飾の功罪 20世紀以降、モダンデザインの世界は装飾的なものから無装飾なものへと向かっていきました。中には「装飾は罪悪である」とさえ言い切るデザイナーも現われます。衣服デザインにおける装飾の問題について考えていきます。	復習：授業ノートの確認+ α *+ α は更に自ら調査研究を深めます。	50分
3回		復習：授業ノートの確認+ α	50分
4回		復習：授業ノートの確認+ α	50分
5回		復習：授業ノートの確認+ α	50分
6回	II. 構造とフォルム 平面（パタン）から立体（ドレス）になるデザインのプロセスでは、構成と構造の考え方が求められます。それは身体を軸にした素材との関係でもあります。身体の上に最終的に形のとなって現れるフォルムの問題について考えていきます。	復習：授業ノートの確認+ α	50分
7回		復習：授業ノートの確認+ α	50分
8回		復習：授業ノートの確認+ α	50分
9回	III. 日本美の再発見 日本は欧米化された生活になって1世紀余が経ちました。世界の画一化が進んでいく現在、私たちは自国の文化について改めて考える時を迎えています。デザインにおける日本美について、海外と日本の双方の視点から考えます。	復習：授業ノートの確認+ α	50分
10回		復習：授業ノートの確認+ α	50分
11回		復習：授業ノートの確認+ α	50分
12回	IV. 歴史を超えて 衣服デザインの未来へ向けて前進しようとする時、同時に過去も背負っていることに気付かされます。私たちは過去（歴史）とどう対峙すればよいのでしょうか。衣服デザインの過去・現在・未来について考えていきます。	復習：授業ノートの確認+ α	50分
13回		復習：授業ノートの確認+ α	50分
14回	プレゼンテーションとディスカッション	予習：プレゼン、ディスカッションの準備	100分
15回	まとめと評価	復習：プレゼン、ディスカッションの振り返り	30分

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

プレゼンとディスカッションに基づいたレポートは学生・担当教員双方の評価つけて最終回に返却します。

■成績評価の方法・基準

プレゼン+レポート	80%
授業態度・姿勢	20%

■教科書

毎回プリントを配布します。

■参考文献

必要に応じて授業内で紹介します。

■オフィスアワー・研究室

前期・後期 木曜日 15:00～16:00 3413 ファッション文化論研究室

■備考

授業で掲げられたテーマについて、自分なりに日頃から考えておいてください。何かを考えるためにはジャンルを超えた基礎知識と経験が求められます。デザイン展に足を運んだり、新聞を読んだりするなど、現代が抱える諸問題を意識して考えてみましょう。